



DF 技術部会瓦版第 14 号

発行: 2012 年 2 月 28 日

世話役: 森山 健一

編集・文責: 保坂 洋

[目 次]

2012 年 2 月 21 日(火) 2 月例会 深田地質研究所(千石)出席者 28 名

懇親会「和民・巣鴨北口店」出席者 15 名

1. 講話「エネルギー資源、政策研究に携わった 40 年」中西聡氏(日本エネルギー経済研究所)
2. 分科会: 理科実験 G 報告(守屋氏)
3. 協賛: リスクセンス研究会(保坂理事)
4. 分科会: 日本産業は何を目指せば生き残れるか(浅野 L)
5. 新しい仲間のご紹介: 大石さん
6. 追悼: 延末 憲三氏の思い出(服部氏)
7. 編集後記(森山世話役)

講 話 「エネルギー資源開発とエネルギー政策 研究に携わった 40 年」

財団法人日本エネルギー経済研究所
アジア太平洋エネルギー研究センター
部長 中西 聡 氏



今回は外部から講師をお招きし、世界にとって最も重要なものの一つであるエネルギーについての講話をお願いしました。

ナイジェリアでの石油探鉱プロジェクト、アブダビでの石油開発・生産プロジェクトに参加し遭遇した事故の生々しいお話とそこから得た教訓を 2010 年 BP のブローアウト事故、昨年の福島原発事故に反映させた考察。

参加されている APEC 地域での低炭素都市づくりプロジェクトと、実際に現在体験されている事実に基づいた興味深いお話を伺うことができました。

最近では、各種の再生可能エネルギー、原子力、石油、天然ガスとエネルギー源についての話題が活発ですが、中西氏のような専門家であっても「将来のエネルギー源がどのように展開していくかの予測は不可能。」という言葉が印象的でした。(保坂記)

分科会報告：理科実験グループ(守屋氏)

被災地の福島県南相馬市での理科実験など、活発な活動報告がなされました。

12/22 ? 2/21 出前理科実験 8回実施

1月10日	池袋三小 (豊島区)	その他
1月21日	大正小(台東区)	授業
1月23日	大正小(台東区)	授業
1月24日	大正小(台東区)	授業
2月11日	上石神井小(練馬区)	放課後クラブ
2月15日	金房小、鳩原小、福原小(南相馬市)	授業
2月15日	鹿島小(南相馬市)	授業
2月18日	科学技術館	常設館

3月末まで予定

2月25日	三菱みなとみらい技術館	常設館
2月25日	上石神井小	放課後クラブ
2月29日	原町第二小	授業、 クラブ活動

2012年2月15日、福島県南相馬市立鹿島小学校で、理科実験教室を開催しました。

同校には、津波で被害を受けた真野、福浦小学校、原発事故の警戒区域のため間借りをしている、小高、金房、鳩原小学校の計6校が同居し、仮設の教室で勉強しています。

校庭の除染はすすんでいます、遊具などは除染されておらず、まだ使えない状況です。



子供達は不便な仮設校舎で、勉強に励んでいます。



“マヨネーズを作ろう”避難校5年生の皆さん

“紙飛行機を飛ばそう”
避難校4年生の皆さん





お願い： イベント数増に対処して 講師増が急務です。 技術部会員全員の参加をお願いします。

協賛報告： リスクセンス研究会(保坂理事)

保坂当研究会理事から経過とお願いの報告がありました。

「リスクセンス検定®」への支援のお願い

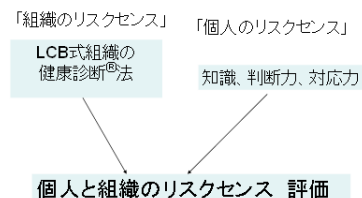
H24-02-21
NPOリスクセンス研究会
保坂 洋/中田 邦臣

リスクセンス検定®の目的

組織運営の上でのリスクに対する感度を向上させることに資する。
→ 組織人と組織に関する2種類のリスクセンス検定を行い、数値化されたリスクの認識力、対応力をベースに各組織に於けるリスクマネジメント体制の強化に資することを目的とする

注：当面はオペレーション及びコンプライアンス分野を主とし、財務及び戦略に関する分野は除く

検定方法: Web 方式
(但し、団体受検はペーパー受検あり)



現在の進捗状況

1 現状

①過平成23年2月26日に検定の実施団体である「リスクセンス研究会」のNPO設立総会を開催し、内閣府へNPOの認証申請

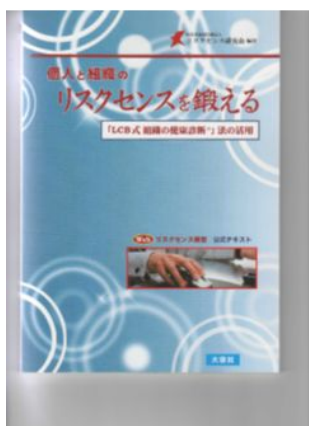
(注: 中田は事務局の担当)

DF技術部会から理事に保坂洋氏 就任

→ 平成23年9月9日付け内閣府認証

「リスクセンス研究会」のメンバー 16名

東工大
LCB研究会
(株)大空社
DF技術部会 有志



検定用テキスト
10月28日出版
定価 2000円(税別)
販売順調

②3月11日「リスクセンス検定」委員会 活動開始

→ 3つの小委員会を発足

第1小委員会 産業分野 (保坂理事が委員)

→ 設問作成開始(DF技術部会から3名参加)

→ 3月末までに試行実施予定 宇部興産グループ

(宇部マテリアル)及びクレハグループ(クレハ環境、クレハ分析センター)、三井不動産の管理ビル(東京・日本橋・コレド)、中堅化学会社ケミクレアの計5社

第2小委員会 医療・介護分野

→ LCB研究会の成果を学会発表を行い、

趣旨に賛同する大学、病院とコンタクト

→ (独)産総研の研究チーム、大阪の総合病院

他とタイアップ検討

第3小委員会 検定実施(保坂理事が委員)

→ リスクセンス研究会のHP開設

→ 平成23年10月29日に検定用参考書発売

→ 2月20日第1回リスクセンスセミナー実施10名受講

(大田区産業振興会館)

→ 検定実施後のフォロー体制も検討準備

お願いしたいこと

- ・ 当面
個人向け検定問題の作成
検定及び検定結果のフォローアップシステムの検討 ⇒ DFアカデミーでフォロー
- ・ 近い将来
一緒になって本検定(4月1日を予定)の普及
- ・ 3月10日のシンポジウムへの参加依頼
現在 DFから3名申し込みあり
条件: 検定ビジネスの入金があるまで無償

第8回組織行動と組織の健全性診断システム(無料)

共催 東京工業大学総合安全管理センター
LCB研究会

日時: 平成24年3月10日(土) 13:30~17:00

場所: 東京工業大学 田町地区

キャンパスイノベーションセンター(CIC) 一階 国際会議室(定員:100名)

- 13:00 開場
- 司会 中田 邦臣 氏 (LCB研究会)
- 13:30~13:50 開会挨拶、これまでの研究成果紹介
小山 富士雄 氏 (東京工業大学)
- 13:50~14:35 検証事例の発表
①「福島原発事故の減災の可能性
? 畑村・事故調査委員会中間報告書をベースに?」
大内 功 氏 (LCB研究会検証チーム)
- 14:35~15:00 ②「大洋薬品工業(株)品質データ差し替え事件の未然防止の可能性」
三谷 洋 氏 (大正富山医薬品(株))
- 15:05~15:50 講演
「医療分野における簡便な組織の健全性診断法への期待」
渡邊 幸子 氏 (大阪市・東住吉森本病院)
- 15:50~16:55 参加者を交えてのディスカッション
簡便な組織のセルフチェックシステムの構築研究に関し
下記の視点での議論を予定しています。
① 組織と個人のリスクセンス検定という手法の評価
② 医療分野等その他の分野への適用の可能性
司会: 小山富士雄
コメンテーター: 川路 明人 氏 (愛知県・一宮市・千秋病院)
中田 邦臣 氏
各講演発表者
- 16:55~17:00 閉会挨拶 小山 富士雄 氏

上記3月10日(土)13時30分から東工大(田町)で開かれるシンポジウムへの奮ってのご参加をお願いいたします。注意:大岡山ではありません。田町ですでお間違いないようお願いいたします。

マップ: http://www.titech.ac.jp/about/campus/t_illust.html

分科会報告：日本産業は何を目指せば生き残れるか（浅野 L）

1. 検討会の経過

-2010 年 6 月 22 日 技術部会にて提案で発足

-2011 年 12 月 22 日 中間報告としてこれまでのまとめを行い、技術部会で報告した。

2. 今後の取り組み

討議すべきテーマは多くあるので、第 17 回会合の席上で下記の分野のテーマを順次取り上げて討議を進めることとした。

ー議論の対象

¶ 産業に影響を与える要因について、その実態を理解する

例えば、TPP、FTA、等の自由貿易構想のそれぞれの要素についての理解

エネルギー問題、農業問題、各種資源問題、医療介護問題等の各論を掘り下げる

¶ 産業界で起こるトピックスについて、適時に討議する

-議論の進め方

基本的にはこれまでどおりであるが、できる限りそのテーマの詳しい方に問題提起をお願いしたい ⇒ テーマと講師推薦に協力頂きたい

3. 2012 年の開催予定

第 17 回(済):2012 年 1 月 20 日 14 時 30 分～ DF 会議室

ー今後の進め方と、テーマについて

ー飯田さんから、内閣府等他の日本産業生き残りの検討と、DF の討議についての分析

ー望月さんから、これまでのまとめについての一般的な産業論からの指摘

ー浅野から、TPP 問題を検討するにあたっての、国際通商協定の背景概要提供

第 18 回(予定):2 月 27 日(月) 14 時 30 分～ DF 会議室

講師:望月 直躬さん「TPP の課題と現状について」

第 19 回(予定):3 月 16 日(金) 14 時 30 分～ DF 会議室

講師:酒井尚平さん「TPP と農業問題について」

第 20 回(予定):4 月 18 日(水) 14 時 30 分～ DF 会議室

講師:池上眞平さん「コダックの破綻と富士フィルムの変革について」

第 21 回(予定):日程未定

講師(予定):七字祐介さん「高齢化社会と都市問題について」

第 X 回(予定):日程未定 4 月頃に臨時講演予定

講師:飯田孝司さん「原子力エネルギーの課題と今後の対応について」

新しい仲間のご紹介

大石 次郎さん



昨年 3 月 11 日午前、役員辞任届を提出し、電車の中で「父さんは会社を辞めた」と子供達にメール打って帰宅。その直後東日本大震災が発生しました。サラリーマン生活 40 年間のピリオドの日と大震災の日が重なり忘れない日になりました。お蔭で帰宅難民にならなかったのも「お前はまだ運があるのでは」と仲間に冷やかされました。

私は昭和 22 年 9 月に目蒲線(今は目黒線)の西小山駅傍で生まれました。小学低学年の頃は二部授業も経験し、遊ぶ時間が多かったのは良かった半面、給食をカットされたことが淋しかった、という思い出があります。都立小山台高校を経て東京工業大学経営工学科に進み日産自動車に入社。追浜工場で労働組合専従役員などを経験し、

1990 年米国日産製造(テネシー州)に生産管理屋として 4 年間出向。1999 年ルノー社が大株主になり、当時 TQM 推進室長を任されており、幸か不幸かカルロスゴーン氏に直接レポートすることになりました。2002 年に日産リバイバルプランが成就することを見届け、子会社の(株)バンテックに MBO(Management Buy Out: 経営者による買収)の仕組みに乗って転籍。その後 IPO(Initial Public Offering)にて東証一部に上場し、昨年 TOB(Take Over Bid: 公開買付)にて大手物流に買われ、そこで(株)バンテックの職を辞しました。

サラリーマン生活最後の 10 年間は会社の資本政策の渦に巻き込まれ「企業価値をどう測って、これを経営によってどう高め、市場でどう評価されるのか」でした。日本的経営に 30 年間、欧米型経営に 10 年間。今は余震もなく静かに息をしております。

最後になりますが昨年 12 月技術部会世話役で同窓生の「森山健一さん」に誘われ DF に入会しました。よろしくお願いします。

追悼： 延末 憲三氏



延末さん

2010年4月例会:キューピー五霞工場見学

悲しく残念なお知らせです。胆管癌で闘病中の延末憲三さん(73歳)が2月19日逝去されました。

2か月前の昨年12月30日には以下のようなお元気なメールをいただいたばかりで驚愕しました。ご冥福をお祈り致します。

「お陰様で今は元気に成りました(大掃除もしました)。今年には国保大網病院(22日間)、千葉大学医学部附属病院(103日間)合計125日の入院生活をしました。(中略)胆道の肝門部に出来た胆管癌切除する為、2月17日に8時間に渡る手術を千葉大学医学部附属病院でして、4月15日に98日振りに退院しました。体重が22kg減、胴回り15cm減とスマートになりました。幸いなことに胆肝膵外科では、日本一の名医と言われている、M教授と巡り会い、命拾いをしました。(中略)

腫瘍があり検査結果、悪性の胆管癌の再発と診断され、千葉大学附属病院に11月18日に再入院して、11月24日に腹壁腫瘍切除手術(約1時間)を受けました。術後の経過が良くて、12月2日に退院しました。12月14日に千葉大学附属病院で、術後の検査を受け、順調なので1月11日から、今までとは違う抗癌剤の使用が始まります。

今年は癌との闘いでDF技術部会に参加できず残念でした。

来年は2月の部会から参加出来るように、頑張ります。

良いお年をお迎え下さい。2011年12月30日 延末(保坂記)

追悼文： 服部 毅氏

技術部会メンバーの延末さんのご逝去、心よりお悔やみ申し上げます。延末さんとは現役時代以来25年以上のお付き合いをさせて頂きました。

延末さんは、横浜国立大工学部卒業後は合成ゴムの世界に入られ、エクソンでブチルゴムというチューブ用の合成ゴムのカスタマーサービスその後、JSR(当時の日本合成ゴム)で営業部門を歩かれ販売担当常務を務められました。合成ゴムは天然ゴムの代替品として開発されましたが、1980年代頃からはタイヤの性能向上面からの要求が強くなり重合法が異なる新商品供給についての社内調整や輸入品との価格競争に随分苦労されたようです。

JSR退職後は山形大学工学部客員教授として産学協同プロジェクト推進面から尽力されました。技術部会の工場見学に山形大工学部の教授も連れてこられましたのでご存知の方も多いと思います。

日本の製造業を強くするための技術経営は如何にあるべきかという意見をお持ちで、近畿大学でも客員教授を務めておられました。

昨年2月に胆管癌切除手術を受けられその後、抗癌剤治療や再手術の為の入退院を繰り返され125日間の入

院生活にも拘らず残念ながら2月19日不帰の人となりました。
お世話になりました、今は安らかに休息ください。 合掌

編集後記

御世話になってきた深田地質研究所での、最後の技術部会が、おかげさまで盛会裏におこなわれた。有難うございました。

さて、NHKの朝ドラ『カーネーション』では、世界的服飾デザイナー、コシノヒロコ、ジュンコ、ミチコの母、小篠綾子さんの半生記が放映されている。時代を切り開いていく娘らに、服飾デザイナーとしての覚悟を厳しく問い詰める母親の姿は際立っている。

激変の厳しい今を生き抜かざるを得ない、今の若者たちのなかでも、なんだかんだ言って、挑戦的な部分が成長しているのを、われわれは感じるべきであろう。

さて、DFは今年十周年を迎える。激動の次の十年も、Senior Executive OB の社会貢献を目指し実践を続けていく。我が技術部会もその一翼を担っていくことになるが、この活動においても、若者たちを励ます役割が増えてくるであろう。

拙い世話役ですが、この一年、よろしくお願いいたします。

平成24年2月24日 森山健一

次回例会予定（会場が変わります。ご注意ください。）

日 時： 2012年4月27日（金）午後2時30分～

場 所： 東京ウィメンズプラザ（青山）

東京都渋谷区神宮前 5-53-67

<http://www.tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp/contents/map.html>

秋合宿予定（手帳にマークしておいて下さい。）

10月17日（火）、18日（水）： 一泊二日

小名浜製錬株式会社（福島県いわき市）見学、親睦ゴルフ大会等